

平成25年
新年号



自民改革会議 県議二期生の会

五輪会 ITSUWAKAI

自民改革会議二期生「五輪会(いつわかい)」です。
国政においては、昨年末の総選挙により私も自由民主党が政権を奪還いたしました。
民主党政権下で停滞してきた我が国の社会、経済状況を打破するため、あらゆる努力をしております。
今年は、私たちの任期の折り返しの年です。東日本大震災の発生以降、防災・減災対策やエネルギー政策が大きく転換しつつある中、
何よりも皆様一人一人の視点を大切に、地に足が着いた施策を着実に実現するため、五輪会全員で尽力していくことをお誓いいたします。
今後とも、引き続き御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

HIROYUKI YABUTA
藪田 宏行
御前崎市
(五輪会 会長)

TATSUYA ONO
小野 達也
伊東市

SHINGO OCHIAI
落合 慎悟
藤枝市

YOSHINORI TAKEUCHI
竹内 良訓
浜松市中区

KIMIHIKO NAKAZAWA
中沢 公彦
浜松市東区

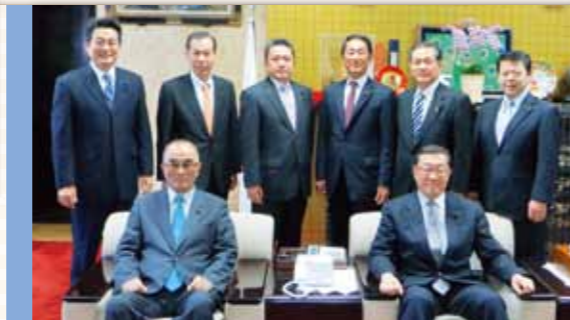
MASAMI MIYAZAWA
宮沢 正美
三島市

一 会派役員



写真左から
▲総務会長 鈴木 利幸 幹事長 杉山 盛雄
会派代表 中谷 多加二 政調会長 宮沢 正美

一 議長と共に



写真手前左から
▲第111代副議長 大石 哲司 第105代議長 小楠 和男

焼津新市長に中野弘道氏(五輪会メンバー)

祝 初当選

任期満了に伴う焼津市長選が11月25日投票が行われ、五輪会メンバーであった、無所属の新人中野弘道氏(自民推薦)が初当選を果たしました。



▲当選確実の報に事務所内は歓喜に包まれました。

中野氏は市議2期を経て、県議2期目の途中で辞職し、今回市長選に出馬しました。

当選確実の一報が入ると、中野氏の事務所に詰めかけた支援者から大きな歓声が湧き起こりました。

満場の拍手で迎えられた中野氏は歓声に答えるように「オール焼津で新たな時代の焼津をつくっていくことを約束します。」と力強く宣言しました。

ガンバレ中野新市長!



▲焼津市長 中野弘道氏

自民改革会議12月議会代表質問 (中谷多加二会派代表)

- | | | |
|---|----------------------------------|---|
| 1 総合計画の目標達成について | 5 富士山世界遺産センター(仮称)の整備について | 10 地震・津波対策に対する新たな特別措置法の制定について |
| 2 来年度当初予算編成について
(1)財源不足額の解消と特別枠予算の編成
(2)新しい地震対策・津波対策アクションプログラムへの対応
(3)雇用確保に向けた取り組み | 6 新しい福祉需要への対応について | 11 災害時におけるアメリカ海兵隊との連携について |
| 3 キャンプ富士を使用したオスプレイの飛行訓練について | 7 農業の担い手育成について | 12 原子力防災対策の推進について
(1)オフサイトセンターの移転整備
(2)原子力災害対策重点区域の設定 |
| 4 天竜浜名湖鉄道の利用促進について | 8 中小企業金融円滑化法の期限到来に対する対応について | 13 教育行政のあり方検討会への対応について |
| | 9 全国育樹祭の成果とそれを生かした森林・林業再生の方針について | 14 犯罪の起きにくい社会づくりについて |

議員提案条例



▲沼津仲見世商店街



▲友好提携

今年度は、議員提案条例の検討会が4月以降開かれていません。
このうち、我が自民改革会議から提案された「商店街活性化条例案」と「友好提携等議決条例案」が、各会派の合意がとれたことから、12月定例会に提案され、全会一致で可決成立しました。

「静岡県商店街振興及び活性化条例」は、事業者自らの責務と市町及び県の責務を定め3者が共に商店街の活性化に努めていくための条例です。

「静岡県と外国の地方公共団体との友好交流に関する条例」は、県と議会とが一体となって今後の国際交流を進めていくため、友好提携を結ぶ際には、知事の独断ではなく県議会として議決をしていくことを定めたものです。

今後共、積極的に議員提案条例の制定に尽力して参ります。

意見書

- ▽12月定例会においては、5件の意見書が提案され、全会一致で可決いたしました。
- ・B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書
- ・中小企業の支援策の拡充を求める意見書
- ・専修学校における質の高い職業教育の実現を求める意見書
- ・次代を担う若者世代支援策を求める意見書
- ・自衛隊の定員の充足を求める意見書

12月補正予算

(単位:百万円)

区分	予算額	内容
経済産業政策会議を踏まえた雇用経済対策に係る経費	2,712	○国の経済対策への対応 2,509 ・道路や河川等の防災・減災対応 ○県独自の雇用経済対策 203 ・住宅リフォーム助成の枠拡充 ・中小企業金融円滑化法終了に伴う中小企業の支援
来年度に予定している対策を前倒しで実施する経費	37	・オフサイトセンターの移転整備 ・東部総合庁舎のアスベスト対策
「日本再生戦略」における重点3分野をはじめとする施策の前倒し	3,872	・介護福祉士修学資金貸付事業費の助成 ・緊急雇用創出事業臨時特例基金の積み増し
大規模災害に備えた防災・減災対策	680	・河川や港湾等の防災・減災対策
合計	7,301	

今回の12月補正予算は、景気の減速感が広がっている中で、雇用の確保を中心に早期に対応をとるものです。早期の事業の着手、執行に努めるよう私たちも県当局に働きかけていきます。

静岡県議会・自民改革会議 公式サイト

<http://jimin-kk.com>

自民改革会議について詳しくはHPをご覧ください。